

★学校で海藻標本展（横浜清風高等学校）

横浜清風高等学校（横浜市）では、2008年度入学式（4月8日）から2週間、神奈川県藤沢市江ノ島周辺の海藻標本を、南校舎と北校舎をつなぐ廊下に展示しました（下の写真。撮影：横浜清風高校写真部）。横澤はこれまで、江ノ島周辺で採集した約150種類2900枚の海藻標本を作製してきました。今回の標本展では、海藻研究の歴史が深い江ノ島の海藻を知ってもらうため、江ノ島を基準産地とする30種と、磯や打ち上げで普通に見られる58種の計90枚を展示しました。壁一面に並んだ海藻は壮観で、「こんなに江ノ島で見ら



れるの!?',「海藻ってすごくきれい!!」と生徒達の評判も上々でした。学校関係者や来校者の方々にも見て頂き、「1500人の海藻ファン」を増やせたと自負しております。

（横浜清風高等学校 横澤敏和）

★海藻標本のご寄贈に感謝（科博, TNS）

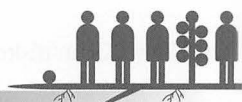
国立科学博物館大型藻類標本室（TNS, つくば市）では、海藻標本の寄贈を歓迎しております（詳細は55巻2号の本欄をご覧ください）。今年に入ってから下記の方々から貴重な標本を寄贈していただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

中庭正人先生（ひたちなか市）より、茨城県産海藻標本245点。昨年55巻3号に掲載の「茨城県沿岸域の海藻相」（pp. 195-198）の証拠標本が含まれています。

横澤敏和先生（横浜市）からは、江ノ島周辺の海藻標本が188点。主に2005年から2007年にかけて同海域でなされた海藻植生調査の証拠標本で、今春、ご勤務先の高校にて展示されたものも含まれています（詳細は上の記事）。

（北山太樹）

本欄への御投稿をお待ちしています。
本文400字以内と写真1枚でお願いします。
編集部まで。 （編）



藻類木彫りアート

山岸高旺先生から芸術品が届きました。以前より噂には聞いておりましたが、これほどの名品揃いとは予想しておりませんでした（カラーでお見せできないのが残念）。いずれの図案も題材が藻類からとられており、鎌倉あたりの寺社の宝物殿に置かれようものなら考古学者を悩ませそうな趣のある作品群です。

じつは山岸先生には、来年8月に東京で開催される第9回国際藻類学会議（IPC9, 詳細は前号 p. 48）の会場でこれらの作品を展示即売グッズとして出品していただけないか、交渉中です。皆様からもこのような藻類アートのご出品をお待ちしております（連絡先：北山 kitayama@kahaku.go.jp）。 （編）

図1-10 山岸高旺木彫りアート

- 1-5. プローチ。1-2. クンショウモ, 3. フシナシミドロ, 4. ツヅミモ, 5. タマイタダキ。
6-7. ペンダント。6. ミドリムシ, 7. フシナシミドロ。
8-10. ペーパーナイフ。8. フシナシミドロ, 9-10. タマイタダキ。

